

Sサカエ

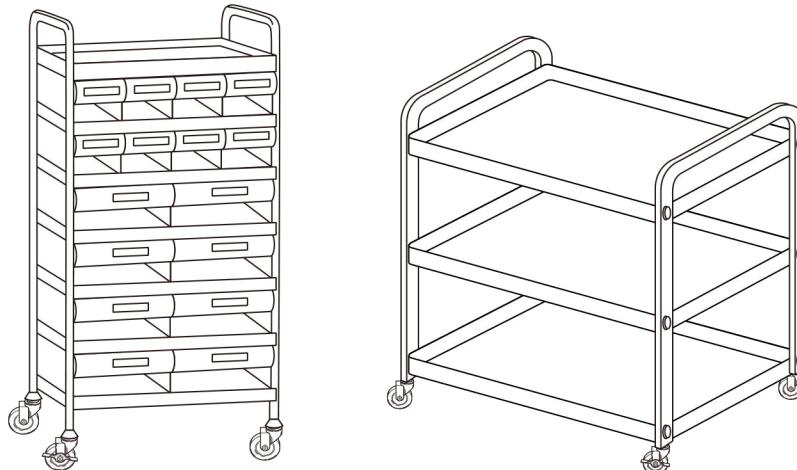
CSワゴンヨコ型 CSワゴン透明ボックス付

組立・取扱説明書

このたびは、CSワゴンヨコ型・CSワゴン透明ボックス付をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●1台あたりの最大荷重

スチールタイプ	ステンレスタイプ		
品番	均等耐荷重	品番	均等耐荷重
CSA	90kg	CSC	90kg
CSC	90kg	CSD	90kg
CSF	100kg	CSF	100kg
CSY	100kg	CSY	100kg
CSB	130kg	CSA	130kg
CSD	130kg	CSB	130kg
CSE	130kg	CSE	130kg
CSG	130kg	CSG	130kg



●ボックス単体の最大荷重

品番	均等耐荷重
HK-130T	8kg
HK-230T	17kg
HK-145T	12kg
HK-245T	20kg

積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。

※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面、または引出しの中に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意

必ずお守りください



誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■耐荷重以上の荷物を置かない。

ワゴンが傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。

■足をかけたり、よじのぼったりしない。

転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。

■不安定な場所に置かない。

ワゴンが倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。



誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■作業台や運搬車として使用しない。

転倒・落下により、けがをするおそれがあります。

■かたよった収納はしない。

バランスを失って、ワゴンが転倒するおそれがあります。

■屋外や水のかかる場所で使用しない。また、ぬれたものを置かない。

ワゴンが腐食し、倒壊するおそれがあります。商品がぬれた場合は必ず乾いたやわらかい布で拭きとってください。

■棚板のつぎ目やウラ側、隙間に指を入れない。

切断面や取付けビスの先端などで、けがをするおそれがあります。

■壊れやすい物、危険物、薬品等は収納しない。

破損してけがをしたり、健康を害するおそれがあります。

■改造や無理な修理、分解はしない。

取付ミスなどにより、ワゴンが不安定になり危険です。特別なご使用をされる場合は購入店へご相談下さい。

■傾斜地では使用しない。

ワゴンが暴走して転倒したり、人や物に当たり、けがや破損するおそれがあります。

■変形・破損したまま使用しない。

転倒・落下により、けがをするおそれがあります。

■移動時は、ワゴンが傾かないよう、ゆっくり運ぶ。

荷物が落ちたりして、けがをするおそれがあります。

■キャスター部や可動部等に異常音等（損耗現象）が発生した場合購入店へご相談下さい。

■高温になった物を乗せたり、火気の近くに置かない。

やけど、火災の原因になったり、変色、変形の原因になります。

■直射日光の当たる所や温度・湿度の著しい所での使用は避け下さい。

変色や変形の原因となります。

■取付けビスがゆるんだり、外れたままで使用しない。

収納物の落下などにより、けがをするおそれがあります。

■消耗品には寿命があります。

キャスター部や可動部等に異常音等（損耗現象）が発生した場合購入店へご相談下さい。

■子供の手の触れる場所に置かない。また、子供を近づけない。

ワゴンに触れて倒れたりして、けがをするおそれがあります。また、連結部・内部の切断面、および収納物によって、指をけがするおそれもあります。

■消耗品の交換、キャビネットのカギ等を紛失された場合は購入先を通じて御注文下さい。

部品明細

番号	品名	棚板 3段タイプ	棚板 4段タイプ
①	支柱	2	2
②	棚板	3	4
③	トラス小ネジ(M6×25L)	12	16

組み立てるまえに

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。
 ※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。
 ※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

組み立てかた

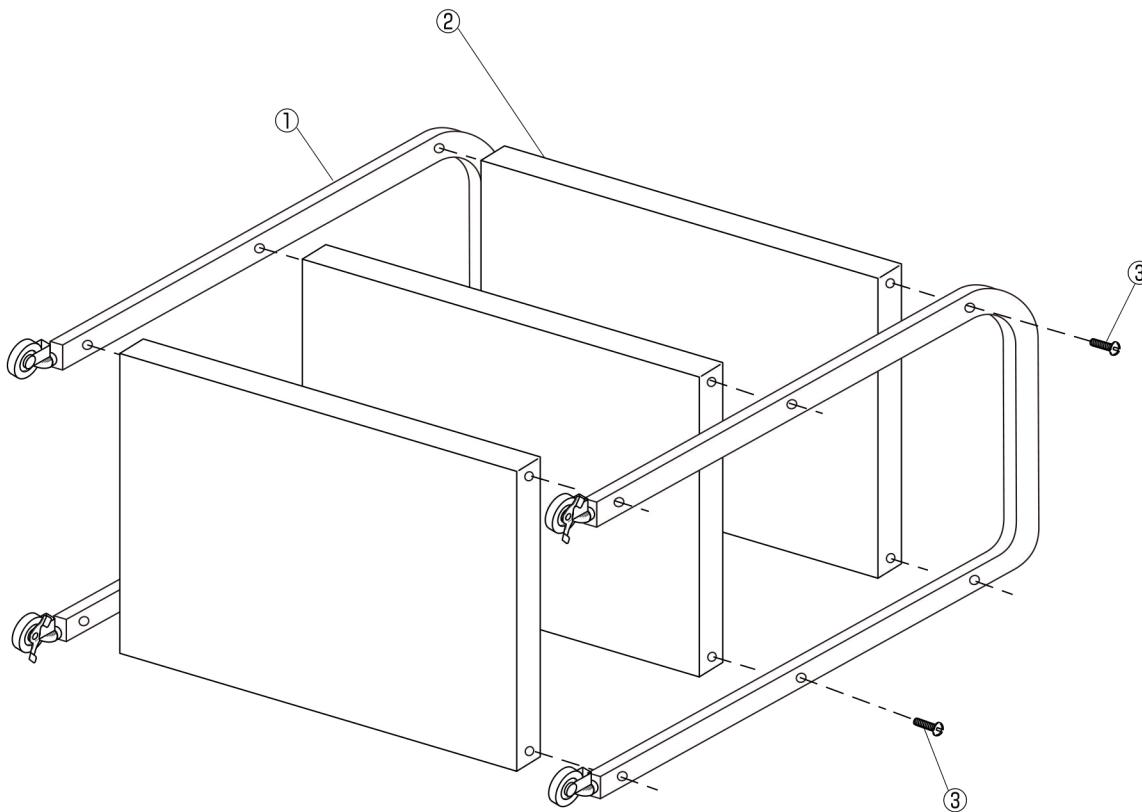
■ひずみなく製品を組み立てるために

- 組み立て時は、ネジを軽く締めておきます。
- 完成後水平な場所に製品を立て、ひずみの矯正をしてから、ボルトを強く締めつけます。

CSYタイプ

- ① 支柱①に取付けているストッパー付キャスターが対角方向になるように支柱を寝かせて、棚板②を下段から順次、トラス小ネジ③で仮止めして下さい。

※棚板②は必ず下段から組付て下さい。



- ② 全ての仮止めが終了すれば、本体を水平な所に起こして、仮止めのボルトを全てはずれないように本締して下さい。